

第6回秦野斎場施設検討委員会要旨

1 日 時

平成27年1月14日（水） 午後1時30分から3時17分まで

2 場 所

秦野市伊勢原市環境衛生組合会議室
(はだのクリーンセンター3階小会議室)

3 出席者

- (1) 委員（7名）
- (2) 事務局等（5名＋設計事業者2名）

4 内 容

(1) 前回議事録の確認等

- ・ 公募型プロポーザルにより選定し、秦野斎場増築改修事業の設計業務事業者に決定した「株式会社類設計室」を紹介した。
- ・ 第5回秦野斎場施設検討委員会の議事録について、23日（金）までに確認をいただくことで了承された。
また、それ以降に議事録を本組合ホームページに掲載することについて了承された。

(2) 議題

ア 今後の委員会スケジュールと主な検討内容について

- ・ 事務局から、基本設計は平成27年5月末まで、実施設計はその後から平成27年度末までに完了させ、平成28年7月末までに建設工事請負契約の締結、8月頃工事着手を予定していることの説明をした。
- ・ 委員会については、今回の第6回で平面計画と諸元表の検討、第7回は1月28日に開催予定で屋内外デザインコンセプト及び修正案の検討、第8回は2月18日に開催予定で外構、外観・内観デザイン及び修正案の検討を行う予定との説明をした。

イ 基本計画の追加修正について

事務局から、秦野斎場西側隣接地は高さ5mの30度を超える法面で

あり、敷地の安全性を確保するため、また、火葬炉が現状の5炉から全炉運転の8炉となった場合には駐車場台数が不足するため、斎場西側隣接地約500㎡を購入し、ガケの安全対策と将来の駐車場用地として整備する内容を基本計画に取り込み、施設検討を進めたいとの説明をした。

- ・ 委員から、駐車台数の考え方についての質問があり、事務局から、現状の駐車状況から将来の駐車台数を算出しており、用地を拡張することで十分な駐車台数が確保できるようになると回答した。
- ・ 委員から、購入用地の管理はどうかとの質問があり、事務局から、取得後の管理区分については秦野市の道路管理課と調整していると回答した。

ウ 平面計画と諸元表について

- ・ 事務局から、平面・断面・諸元表の概要の説明、収骨方法の提案、及び各諸室のポイントについての説明をした。
- ・ 委員から、屋内に喫煙室は必要ないのではないかとこの意見があり、事務局から、喫煙室については秦野市及び伊勢原市の議員からの意見もあり、喫煙者と非喫煙者に配慮した計画としたが、喫煙室は屋内に設けない方向で再検討していくと説明した。
- ・ 委員から、棺運搬台車の台数と階段下スペースを活用した棺台車置場に関する質問があり、事務局から、棺台車置場については火葬炉運営業者の意見も聞いたうえで検討すると回答した。
- ・ 委員から、基本計画よりも告別室等の面積が狭くなっているため、中庭及びその周囲の諸室を詰めて、告別室と収骨室の面積をもう少し確保できないかとこの質問があり、事務局から、全体の配置バランスから諸室の寸法を検討していることから、告別室や収骨室だけを広げることは難しい、告別室と収骨室、エントランスの面積配分の中で、客溜まりスペースとしてのエントランスを若干大きくしている。また、中庭をつぶしたとしても火葬炉が移動できないため一部分の室しか広げられず、中庭は既存待合棟の採光、自然の通風を確保する上で有効であると回答した。
- ・ 委員から、収骨室の観音開きの自動ドアが危ないのではないかとこの意見があり、事務局から、改善したいと回答した。
- ・ 委員から、エントランスを広げたことで収骨室の壁が通路の方へ出てくることで人の流れに支障ないかとこの質問があり、事務局から、エントランス1の告別室2室は、既存棟の待合室を使う想定で、エントランス

1とエントランス2の間の移動は発生しない想定で提案している。中央2室の収骨室は面積に若干ゆとりがあるので、エレベーター前を広げることを検討していくと回答した。

- ・ 委員から、霊柩車が玄関に対して垂直に止められた方が棺を出しやすいのではないかとの意見があり、事務局から、横付けの方が会葬者の安全性が高いと考えられると思うが、運営業者にも確認したうえで検討したいと回答した。
- ・ 委員から、45㎡の待合室は何人くらいが収容できるのかとの質問があり、事務局から、畳スペースも含めて40人くらいと回答した。
- ・ 委員から、秦野斎場の会葬者数はどのくらいかとの質問があり、事務局から多い時で50人強、大部屋で50人、小部屋の3室は30人収容となっていると回答した。
- ・ 委員から、2階の待合室も仕切りをとって2室を1室で利用できることだが、1室ずつ使用の際にはバルコニーについては待合室間を横断できないようなもの、隣室からの視線を遮るものがあつたほうが良いのではないかとの意見があり、事務局から、隣が見えにくくなり移動できるような仕切り板を検討すると説明した。
- ・ 委員から、売店は2階の北側にあるが人目に付くのは1階と思われるが、この位置が一番良いのかという質問があり、事務局から、エントランス1とエントランス2の利用者の動線が干渉しないようにこの位置に計画していると回答した。
- ・ 委員から、排ガス温度が約200℃ということで排気筒に屋根が掛かっているが耐久性などに問題はないのか、との質問があり、事務局から、今後火葬炉メーカーと技術的な協議をして、支障ない様に進めていきたいと回答した。
- ・ 委員から、床の材質に関する質問があり、事務局から、エントランスホールや炉前室等の儀式を行う厳粛な場所は石張りとして、待合室はフローリングを、事務室や更衣室はタイルカーペットを、霊安室、保冷室や管理室の水を扱う部屋もフローリングを考えていると回答した。

(3) その他

ア 視察について

- ・ 平成27年2月9日(月)に予定している「厚木市斎場」と「茅ヶ崎斎場」への視察について、視察先の概要や集合場所等について説明した。